

第38回 市民総合スポーツ大会
第72回 福岡市剣道祭

と き 令和6年9月23日（月・祝）

開会式 8時30分

と ころ 福岡市総合体育館メインアリーナ
（福岡市東区香椎照葉）

主 催 福 岡 市
（公益財団法人）福岡市スポーツ協会

主 管 市民総合スポーツ大会実行委員会
福 岡 市 剣 道 連 盟

後 援 （公益社団法人）福岡県剣道連盟

大会専用QRコード



運営協力 株式会社スクールパートナー

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとうとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
財団法人全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
財団法人全日本剣道連盟

大会式次第

開会式

- | | | | |
|------------|--------|----|----|
| 1. 開会のことば | 大会委員長 | 國友 | 秀三 |
| 2. 会長あいさつ | 大会会長 | 牧瀬 | 憲保 |
| 3. 試合上の注意 | 審判長 | 小磯 | 清 |
| 4. 選手宣誓 | 鳥飼少年剣道 | 福島 | 悠斗 |
| 5. 運営上の諸注意 | | | |
| 6. 試合 | | | |

閉会式

1. 成績発表並びに表彰
2. 閉会のことば

令和6年度 喜寿剣士 昭和22年1月1日から12月31日生まれの剣士

【東区】・荒川 徳宏 先生 ・早上 英臣 先生 ・隈本 和生 先生
・古園 久子 先生

【西区】・小山田 憲男 先生

【早良区】・高野 國雄 先生

【城南区】・平野 尊織 先生 ・野村 三男 先生 ・岩根 良治 先生

【南区】・近藤 康徳 先生

【中央区】・伊藤 惟徳 先生 ・上田 哲也 先生 ・熊谷 信一郎 先生
・平田 芳江 先生 ・吉井 薫 先生 ・原 和道 先生

大 会 役 員

大会名誉会長	福岡市長	高島宗一郎
大会会長	福岡市剣道連盟会長	牧瀬憲保
大会副会長	福岡市東区剣道連盟会長	石橋正久
	福岡市西区剣道連盟会長	富永計久
	福岡市早良区剣道連盟会長	花田利夫
	福岡市城南区剣道連盟会長	大和竹史
	福岡市南区剣道連盟会長	井上和義
	福岡市中央区剣道連盟会長	佐々木健一
	福岡市博多区剣道連盟会長	鬼塚昌宏
大会名誉顧問	(公益財団法人)福岡市スポーツ協会会長	藤井一郎
大会顧問	(公益社団法人)福岡県剣道連盟会長	青柳俊彦
	(公益社団法人)福岡県剣道連盟副会長	宮川英俊
	福岡連合地区剣道連盟会長	原博生
	(公益財団法人)福岡市スポーツ協会副会長	原田清子

大 会 委 員

大会委員長	福岡市剣道連盟理事長	國友秀三
大会委員	村方章 村田昇平 下村健一郎	
	親川光紀 深見心治 森山和博	
	田中健一	
総務委員長	湯口博史	
総務委員	小林真二 河原亮輔 福永秀樹	
	小林長充 青木幸孝 草場太郎	
	石井豊勝	
本部委員	谷口浩司	
進行係	河原亮輔	
記録係	石井豊勝	
表彰係	石橋俊男	
接待係	櫛野美栄 住田麻美 山下明子	
救護係	武吉洋実	

(順不同)

審 判 員

審 判 長 小磯 清

【第1試合場】	【第2試合場】	【第3試合場】	【第4試合場】
上 田 啓二郎	白 武 瑞 人	親 川 光 紀	神 田 真奈美
鳥 海 修	親 川 佳 代	今 泉 定 徳	橋 本 祥 史
和 田 太 郎	長 濱 洋	小長野 隆 広	馬 場 浩 喜
宮 本 和 之	藤 嶋 晋太郎	増 岡 慶 司	内 田 潔 孝
櫛 野 周 史	下 村 拓 史	税 田 健 司	徳 安 浩 一
篠 原 啓 祐	有 吉 千 穂	松 岡 健太郎	江 島 康一郎
山 根 宏 文	齊 藤 晃 夫	藤 嶋 雄 二	井 上 耕 治
【第5試合場】	【第6試合場】	【第7試合場】	【第8試合場】
上 寺 康 司	梅 津 裕一郎	高井田 誠	下 川 和 秀
宮 園 幹 夫	友 田 誠 二	島 井 貴 浩	高 倉 伸 幸
南 信 吾	坂 本 顕 之	久 保 博 子	手 塚 潤 司
深 野 興 一	芳 野 哲 志	岸 川 憲 大	松 隈 孝
岩 男 真 吾	今 泉 佑 太	西 祖 布由子	鱒 坂 正 秋
坪 田 一	大 藤 早 苗	森 遼太郎	小 金 丸 卓 也
光 岡 来 蔵	宮 崎 智 和	阿 部 洪太郎	末 松 輝

係 員

【第1試合場】	【第2試合場】	【第3試合場】	【第4試合場】
【東区】	【中央区】	【西区】	【城南区】
今 崎 博 史	鈴 木 高太郎	武 吉 隆 之	富 永 真由美
渡 邊 真 理	小 島 慶 太	伊 東 ひろみ	森 聡 子
大 山 真 央	吉 村 大 地	古 川 美 果	相 良 空 美
上 野 美由紀	二 木 慎太郎	宮 崎 麻菜美	相 良 博 喜
家 入 優 子	永 嶋 悠 汰	北 崎 裕美子	山 本 麻 美
【第5試合場】	【第6試合場】	【第7試合場】	【第8試合場】
【南区】	【早良区】	【博多区】	【城南区】
池 田 博 貴	山 下 忠 泰	福 田 君 恵	夏 山 アルム
佐 藤 雅 也	野 中 安 純	箕 浦 雅 子	浦 邊 円
廣 渡 晃	森 山 志 朋	武 田 聡 子	竹 中 希
原 田 詳 子	岡 野 恵 子	禿 美由紀	三 角 真由美
山 谷 和 代	齋 藤 瞳	国 崎 寛 子	古 澤 帯 子

令和6年度 第38回市民総合スポーツ大会 第72回 福岡市剣道祭 実施要項

1. 趣 旨 市民スポーツの普及振興を図り、幼少年から高齢者まで年齢を問わず、剣士相互の友情を深め、スポーツへの関心と参加意識を高めることを旨とする。
2. 主 催 福岡市・（公財）福岡市スポーツ協会
3. 主 管 市民総合スポーツ大会実行委員会・福岡市市民局スポーツ推進部スポーツ事業課・福岡市剣道連盟
4. 後 援 （公社）福岡県剣道連盟
5. 期 日 令和6年9月23日（月・祝）
開場・受付 ①②③⑦⑧の部門…午前7時30分～ 開会式…午前8時30分
④⑤⑥の部門…午前10時～11時に受付 開会式参加希望者は観客席からの自由参加とします。
（※④⑤⑥の部門のウォーミングアップは、10時～15時の間で、武道場で行ってください。譲り合ってください。）
6. 会 場 福岡市総合体育館 メインアリーナ（福岡市東区香椎照葉6丁目1-1）
7. 参 加 資 格 福岡市内の各道場、公民館、クラブ活動及び学校を単位とした責任ある団体に所属する「男子選手」を対象とします。大会出場の一般の部の段位は、大会申込締切日の令和6年7月31日現在を基準とします。
8. 競 技 種 目 『個人戦』（8部門）
①小学生1～2年の部 ②小学生3～4年の部 ③小学生5～6年の部
④中学生1年の部 ⑤中学生2～3年の部 ⑥高校生の部
⑦一般 初段～3段の部 ⑧一般 4段～5段の部
9. 組 合 せ 組合せは主催者で行います。
10. 試 合 ・ 審 判 及 び 試 合 方 法 (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則、細則、並びに本大会実施要項により行います。
(2) 試合はトーナメント方式により行います。
(3) 『個人戦』
・ 試合は3本勝負とし、試合時間は、①～③の部門は2分間、④～⑧の部門は3分間とします。試合時間内に勝負が決しない場合は延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとします。
・ 延長戦に入ってから試合時間は、全部門2分ずつに区切って行い、3回の延長で勝敗が決しない場合は休息をとり、その後は3回の延長で休憩（5分）をとります。
11. 表 彰 各部門、優勝、準優勝、3位2名には、それぞれ賞状と景品を授与します。また、参加者全員に参加賞を授与します。表彰は各部門で決まり次第随時行います。
12. 主 催 責 任 者 福岡市剣道連盟理事長 國友 秀三

13. 問い合わせ先 福岡市剣道連盟事務局長 湯口博史 (携帯 090-6298-9083)

14. その他

- (1) 参加申し込みの際、学校と所属団体・教室との重複エントリーにご注意願います。
- (2) 所属団体名と姓を明記した「名札」を付け、紅白の目印は各自持参して下さい。
- (3) 大会中の事故については、応急処置は主催側で行いますが、その後の治療等については各団体または個人で処置して下さい。尚、傷害保険等は各団体で加入して下さい。
- (4) 駐車場は体育館駐車場をご利用ください。(有料1台500円/1日)
- (5) 近年の大会で、会場内外でお子様による怪我や、公共物の破損等が多発しています。お子様(選手・選手以外)が会場内で事故や、器物破損などを起こさないように十分にご注意、ご指導をお願いします。また、万が一お怪我をされた場合は、一切責任を負えません。器物破損につきましては、修理をして頂きます。
- (6) 指導者、引率者様へのお願い
 - ・開会式の入場については3順目までの選手のみとします。
4順目の試合以降の選手は観客席等で待機・準備をお願いします。
 - ・総合体育館の武道場をウォーミングアップ会場として開放しております。
→ 試合順序4順目以降の選手はご利用ください。
 - ・会場(試合場)に入館できるのは各団体4名(監督1名、引率者3名)までとします。
 - ・会場(試合場)での試合中競技者の動画撮影は禁止します。
 - ・入場口での靴をブルーシート内に揃え入場して下さい。ブルーシート以外に靴を置くことを禁止します。
 - ・体育館内の移動は必ず靴を履いて移動して下さい。裸足での移動は禁止です。
 - ・車で総合体育館への来場時は、各道場でできるだけ乗り合わせてご来場ください。※入館用のリストバンドを受付時にお渡しします。手首につけて入館して下さい。
※応援は観客席にてお願いします。
- (7) 選手へのお願い
 - ・選手は試合時、マスクまたはフェイスシールドのどちらかを必ずご着用下さい。
 - ・敗退した選手につきましては、随時、退館のご協力をお願い致します。

試 合 順 序

試合 1～3 順目	試合場	1 順目	2 順目	3 順目
受付時間 7:30～8:15 開会式は メインアリーナ で行います ウォーミングアップは 7:40～8:15 まで メインアリーナで 行ってください	1 試合場	小学生 1～2 年の部 A グループ 24 試合 パート決勝まで行う	小学生 3～4 年の部 G グループ 16 試合 パート決勝まで行う	一般初段～三段の部 A グループ 17 試合 パート決勝まで行う
	2 試合場	小学生 1～2 年の部 B グループ 24 試合 パート決勝まで行う	小学生 3～4 年の部 H グループ 17 試合 パート決勝まで行う	一般初段～三段の部 B グループ 17 試合 パート決勝まで行う
	3 試合場	小学生 3～4 年の部 A グループ 16 試合 パート決勝まで行う	小学生 5～6 年の部 A グループ 23 試合 パート決勝まで行う	一般四段～五段の部 A グループ 17 試合 パート決勝まで行う
	4 試合場	小学生 3～4 年の部 B グループ 16 試合 パート決勝まで行う	小学生 5～6 年の部 B グループ 23 試合 パート決勝まで行う	一般四段～五段の部 B グループ 17 試合 パート決勝まで行う
	5 試合場	小学生 3～4 年の部 C グループ 16 試合 パート決勝まで行う	小学生 5～6 年の部 C グループ 23 試合 パート決勝まで行う	小学生 5～6 年の部 G グループ 23 試合 パート決勝まで行う
	6 試合場	小学生 3～4 年の部 D グループ 16 試合 パート決勝まで行う	小学生 5～6 年の部 D グループ 24 試合 パート決勝まで行う	小学生 5～6 年の部 H グループ 24 試合 パート決勝まで行う
	7 試合場	小学生 3～4 年の部 E グループ 16 試合 パート決勝まで行う	小学生 5～6 年の部 E グループ 23 試合 パート決勝まで行う	試合状況にて変更あり
	8 試合場	小学生 3～4 年の部 F グループ 16 試合 パート決勝まで行う	小学生 5～6 年の部 F グループ 23 試合 パート決勝まで行う	試合状況にて変更あり

試合 4～6 順目	試合場	4 順目	5 順目	6 順目
受付時間 10:00～11:00 開会式は 観客席からの 自由参加とします ウォーミングアップは 10:00～15:00 武道場で 行ってください	1 試合場	中学生 1 年の部 A グループ 25 試合 パート決勝まで行う	中学生 2～3 年の部 E グループ 28 試合 パート決勝まで行う	試合状況にて変更あり
	2 試合場	中学生 1 年の部 B グループ 26 試合 パート決勝まで行う	中学生 2～3 年の部 F グループ 28 試合 パート決勝まで行う	試合状況にて変更あり
	3 試合場	中学生 1 年の部 C グループ 26 試合 パート決勝まで行う	中学生 2～3 年の部 G グループ 28 試合 パート決勝まで行う	試合状況にて変更あり
	4 試合場	中学生 1 年の部 D グループ 26 試合 パート決勝まで行う	中学生 2～3 年の部 H グループ 28 試合 パート決勝まで行う	試合状況にて変更あり
	5 試合場	中学生 2～3 年の部 A グループ 26 試合 パート決勝まで行う	高校生の部 A グループ 18 試合 パート決勝まで行う	試合状況にて変更あり
	6 試合場	中学生 2～3 年の部 B グループ 25 試合 パート決勝まで行う	高校生の部 B グループ 18 試合 パート決勝まで行う	試合状況にて変更あり
	7 試合場	中学生 2～3 年の部 C グループ 27 試合 パート決勝まで行う	高校生の部 C グループ 18 試合 パート決勝まで行う	試合状況にて変更あり
	8 試合場	中学生 2～3 年の部 D グループ 28 試合 パート決勝まで行う	高校生の部 D グループ 19 試合 パート決勝まで行う	試合状況にて変更あり

○試合順序は進行状況により変わることがあります。ご注意ください。

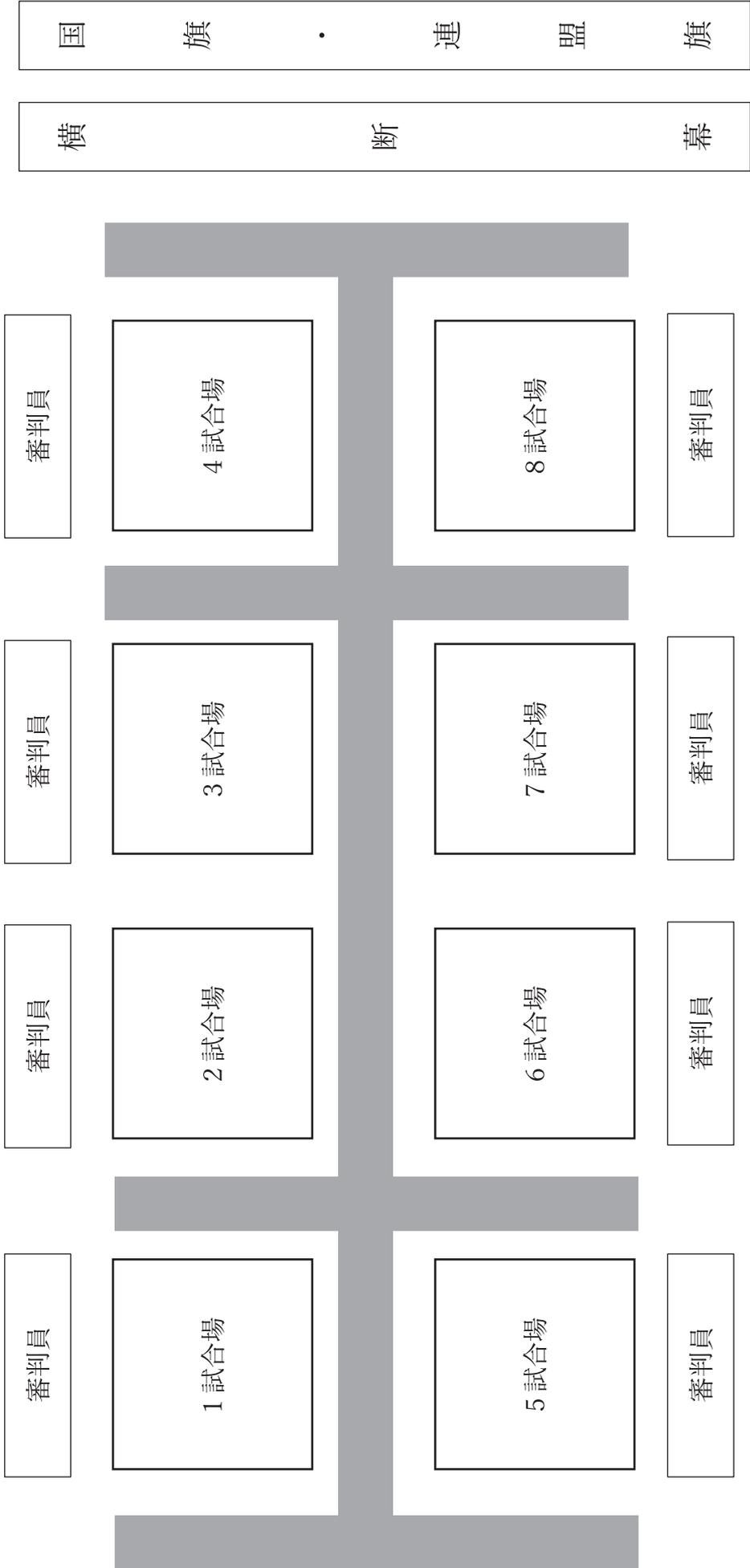
○決勝戦および決勝トーナメントの実施は、試合場の準備が出来次第、順次案内しますので、本部の指示にしたがってください。

大会会場図

救護委員
 進行委員
 記録委員
 表彰委員
 大会委員
 大会委員長

審判長

副会長
 大会顧問
 名誉顧問
 名誉会長
 会長



創志

心印からきれば創志の心

創志業人への教訓

先ず心より学ばせ

三島拾白書

島田虎之助



剣道教室の運営を

徹底サポート

SCHOOL PARTNER Co., Ltd.
All Rights Reserved.
Administrative support
for kendo classes



教室運営の困り事を
サポートします！

私たちが できる

七つのこと

私たちは、幼児・小学生向けの各種スポーツスクールを国内外で運営し、延べ 50,000 名以上の会員様に向き合ってきた実績を誇ります。小規模習い事支援サービス「せんせいかいし」は、私たちが培ってきたスクール運営ノウハウをご提供することで、運営者様が抱える負担の軽減を目指すサービスです。

一、生徒が集まるホームページ

Creating a website



豊富な制作実績から、生徒が集まる通いたくなるホームページをご提案します。

導入実績: あすなる剣道教室

二、反応率の高いチラシ作成

Creating flyers



年間 5 万人以上の申込み実績がある弊社だからこそできる反応率の高いチラシをご提案します。

導入実績: あすなる剣道教室
森本剣道塾

三、会員管理システムの提供

System provision

日本・海外で利用されているスクール特化型管理システムを特別提供させていただきます。

導入実績: 森本剣道塾
愛剣剣道教室



四、カスタマーセンター業務委託

Customer center

問い合わせ対応などを窓口業務を承ります。教室運営に集中でき、収益・顧客満足度もアップします。



五、募集から運営までの仕組みづくり

Scheme configuration

スクール運営のノウハウを提供し、あなたの教室にあった仕組みづくりをお手伝いします。



六、面倒な集金・督促業務を代行

Collection agency

月会費やイベント参加費の集金を代行いたします。

未収金が発生した場合の督促業務も対応。

導入実績: 森本剣道塾
愛剣剣道教室



七、収益構造の見直しサポート

Review support

スクール業界に特化した会計の専門家が、収益構造の見直しをサポートします。



問い合わせ先

株式会社スクールパートナー内 TEL | 03-6300-0531
せんせいかいし担当 メール | info@senseikaishi.co.jp

お気軽にホームページまでお問合せください ▶▶▶

